

英国のEU離脱問題

国際運輸労連内陸運輸部会長 浦田誠氏が語る

英国のEU離脱の是非を問う国民投票は、世論を真っ二つに引き裂いた。離脱派と残留派は4カ月の運動期間中、舌戦を繰り返した。それが行き過ぎたという批判も出た。加熱する論争は、極右団体シンパの男が国会議員を殺害する悲劇まで引き起こした。

6月23日の投票日。開票の結果、離脱票が残留票を上回った。しかし、そもそもこのような難しい課題を国民投票に委ねることが正解だったのか。

フィナンシャル・タイムズ紙はキャメロン首相の「戦術ミス」と断じ、結局は立身出世に腐心して国の行方を見誤った人物だったと評した。自由民主党のクレック前首は、「連立政権の当時も国民投票を打診されたが拒否した。保守党の内部抗争に国益を左右されなかったため」と振り返る。キャメロン氏が党内の反EU強硬派を抑え切れなかったのは、自身もかつてEUに懐疑的だったからともいわれる。

離脱派に勝利感なし

勝った離脱派にも祝賀ムードはない。首相は即日辞任を表明し、EUとの離脱交渉は勝ち組のお手並み拝見となる。リーダーのジョンソン

勤労者の声は届いたのか？

前ロンドン市長は、「交渉を急ぐことはいらない」とささく発言。同氏も、次期首相の座を狙い離脱派につくというばくちに出た野心家だ。

膨大なEU拠出金を止め、国営の「国民保健サービス」に還元すると主張した英国独立党のファラージ首は、公約から距離を置き始めた。他方、労働党の一部議員が、左派のコービン首の辞任を強く求めている。残留運動に本腰を入れなかったからだというが、根拠に乏しい。勢いがあるのは、スコットランド民族党。

同地方は残留派が62%を占めたため、「EUに残ること」を大義名分に英国からの独立を問う国民投票を再び検討する方向だ。

地方勤労層の離反

離脱派の多くは、経済的恩恵から長く取り残されてきた地方の勤労層のものだった。英国から離れたところで、政治エリートが自分たちの生活を左右していると感じていた。では「心の叫び」は、百鬼夜行の中央政界に届いたのか。繁栄を独り占めするロンドンの中産階級は何を感じたのか。こうした課題と真摯(しんしん)に向き合わなければ、移民排斥や人種差別を掲げる反動勢力がますます躍進するのは明らかだ。

電力自由化―選択による意思表示を

FOE Japan / パワーシフト・キャンペーン事務局 吉田明子



論点

政府は、2000年に大規模工場やビルなどへの電力小売を自由化したことを皮切りに、段階的な市場開放を行ってきた。この4月には小規模事業所や一般家庭などの低電圧部門の小売が自由化され、消費者はこの会社からでも電力を買う

ことができるようになった。この自由化もふくむ「電力システム改革」が決まったきっかけは、震災・原発事故である。発電所が東日本大震災で被災し、電力の供給不全に陥ったことで電力大規模集中型の電力システムの脆弱性が浮き彫りになった。そして、ひとつの電力システムが機能しなくなっても他の電力システムによって補完できる分散型のエネルギーシステムに変えていく必要がある。今回の電力完全自由化がなされたことで、消費者は電力会社を選択することができる。

これは市場の開放により価格競争が行われることを意味する。マスコミではこの価格競争、つまりは「安さ」ばかりが目立っている。確かに電力を販売している各社とも現在の電気料金にくらべて平均5%ほど安くなる料金プランを提示しており、電気を多く使う人ほど安くなる傾向にある。

しかし、「安さ」だけに注目していてもよいのだろうか。安くなるからと電気を多く使用することでは省エネと逆行している。また、安さが求められることで、結局は石炭火力推進、原発推進につながる。環境団体や消費者団体ですすめるパワーシフト・キャンペーンでは、5つの視点から電力会社を選

◆パワーシフト・キャンペーンが重視する5つのポイント

1. 電源構成などを一般消費者にわかりやすく開示
2. 再エネ発電設備からの調達を中心とする(固定価格買取制度(FIT)による交付金を受けているものを含む)
3. 原発や石炭火力発電からの調達はしない(常時バックアップ分は除く)
4. 地域や市民による再エネを重視
5. 大手電力会社と資本関係がない(子会社や主要株主でない)

者は電力会社を選択することで、国のエネルギー政策への意思表示をすることができるのだ。環境団体や消費者団体ですすめるパワーシフト・キャンペーンでは、5つの重視する点に沿った電力会社を紹介している。(http://power-shift.org)



歯科医の信頼は地に落ちた!? / 週刊ポスト

物件案内

- 【週刊ポスト】7月15日号では、「業界のタブー全部書く!」や「はげしい歯科治療第二弾」として、歯科を批判的に特集。「歯を抜きましょ」と歯医者に言われてもすべしなうすいてはいけない、歯科医院の収益をあげるために治療可能な歯まで、抜いている」と読者に注意喚起する。特にインプラントについては、歯科医の甘い言葉に乗せられて埋入したものの、リスクについて説明がなかったためにトラブルになったなどの事例を取り上げている。
- 【歯科医院賞与】
【住所】堺市堺区高須町3丁1-20
【最寄駅】南海高野線浅香山駅徒歩1分
【条件等】面積69㎡
【金額】応相談
【その他】マンションの1階でリフォームすれば歯科医院として使える物件です。
【連絡先】谷下歯科医院(谷下人六)、Tel 072-3331-8964

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731 / ファクス 06-6568-0564

歯科手話教室(基礎編) Part 3
日時 7月23日(土) 午後2時30分～5時
会場 保険医会館5階 定員 30人
講師 東尾建氏(歯科技工士)
会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円
内容 基礎的な手話、初歩的な歯科医療会話練習の最終回

シリーズ雇用管理対策講習会② 給与計算完全ガイド―正しい給与計算を社労士が解説
日時 7月23日(土) 午後6時～8時
会場 保険医会館5階 定員 50人
講師 桂好志郎氏(協会顧問社会保険労務士)
会費 会員・家族3千円、未入会者1万円

7月度生涯研修 酸蝕症の診断と対応―罹患率26.1%の衝撃―
日時 7月24日(日) 午前10時～午後1時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 楠雅博氏(兵庫県・淡路市開業)
会費 会員3千円、未入会者1万円

大阪市東部・北部地区講習会 歯科金属アレルギーを考える―経験した1000症例からわかったこと
日時 7月31日(日) 午前10時～午後1時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 高永和氏(生野区開業)
会費 会員無料、未入会者1万円

三島地区講習会 臨床に活かすカリオロジー
日時 8月27日(土) 午後7時～9時
会場 高槻市生涯学習センター3階「研修室」(JR高槻駅・阪急高槻市駅徒歩8分)
講師 伊藤中氏(茨木市開業、大阪大学歯学部臨床准教授)

8月度生涯研修 デンチャースペース義歯の実際―顎堤の痩せた高齢者に安定した義歯を
日時 8月28日(日) 午前10時～午後1時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 加藤武彦氏(横浜市開業)
会費 会員3千円、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です。※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。